

東京都小学校道徳教育研究会

令和2年12月4日
東京都小学校道徳教育研究会
会長 佐野友隆

令和2年度 都小道研の主な事業

コロナ禍にあっても、教職員は研究活動を求める気持ちが強いと感じ、都小道では感染症対策を講じながら、各部の実態に応じて様々な工夫をしながら研究をしてきました。

<指導者研修会>

月に1回、都小道の役員、各部長が集まる研修会です。各部の活動状況について、情報交換をし、会全体の活動の方向性を決めるだけでなく、会長、副会長を講師に、各部の部長自らが学ぶ会となっています。時間を短縮しながらも、毎月開催しています。

<研究授業>

例年、研究、研修、調査、事業の各部での授業研究を行っています。今年度は、感染症予防対策のため回数は少なかったものの、5回実施しました。従前の研究授業のほかに、密を避けるために授業の公開をせず、事前検討、事後の協議もオンラインを利用するという工夫も試みられました。授業をもとに児童の実態を把握し、研究・検証を行うことが大切と考えています。



「花さき山」のように、美しい心の花がたくさん咲きました。

<道徳講演会>

今年度は、区部と市部で1回ずつ実施しました。

10月22日に研修部主催で都小道研第28代会長の後藤 忠先生を講師にお迎えし、全都の教員を対象に開催しました。

「自己を見つめ、生き方について考えを深める」という演題で、耐性の欠如、社会性の未発達、自立の遅れなど全般的に「生きる力」が衰退しているという現代の子供たちの実態をベースに、だからこそ道徳授業の特質を生かし、「心に響き、心を耕す道徳科の授業を大切にしてほしい」という言葉が、参会者の胸に響きました。

また、11月27日には事業部主催で、講師に都小道研第37代会長の北村 博先生を講師にお迎えし、「ウィズコロナの今、道徳教育に求められるもの」という演題で、主に多摩地区の教員を対象に開催しました。



感染症対策として、講演会も座席の間隔を広くとって開催。学びの機会を大切にしたいと、多くの皆さんが参加しました。

<臨時総会・研究発表会>令和3年1月25日（月）町田市立小山ヶ丘小学校

研究のまとめとして、町田市立小山ヶ丘小学校を会場に研究発表会を行います。研究発表会に先立ち、各学年1学級の6学級をお借りして、都小道研各部検証授業を公開します。また、研究発表会では各部が一年間取り組んできた研究の成果と課題を発表します。どなたでも参加できますので、どうぞお越しください。